

当たり前を当たり前にする

片桐英数塾通信

本物に気づき

実行する強さを

夏休みも終わり、さあいいよ!という時に、何を血迷ったか、受験とはあまり関係の無いことを書いてみようと思います。毎年この頃なのですが、受験とは直接関係無いので書くかどうかどうしようかと迷っているうちに高3生は受験に走り回っているシーズンになってまして、書けず仕舞いになっておりました。今年が書きたい、9月なら書いてもまだ大丈夫かな...と思いつき、書くに至ったのであります。

「当たり前を当たり前にする」これは私の叔父から頂いた言葉なのですが、この言葉の重み、分かりますか? 分かる人は本当に凄いなと思います。「当たり前を当たり前にする」って「当たり前やん?」とか、昔の私は考えておりました。「決められたことをキチンとす

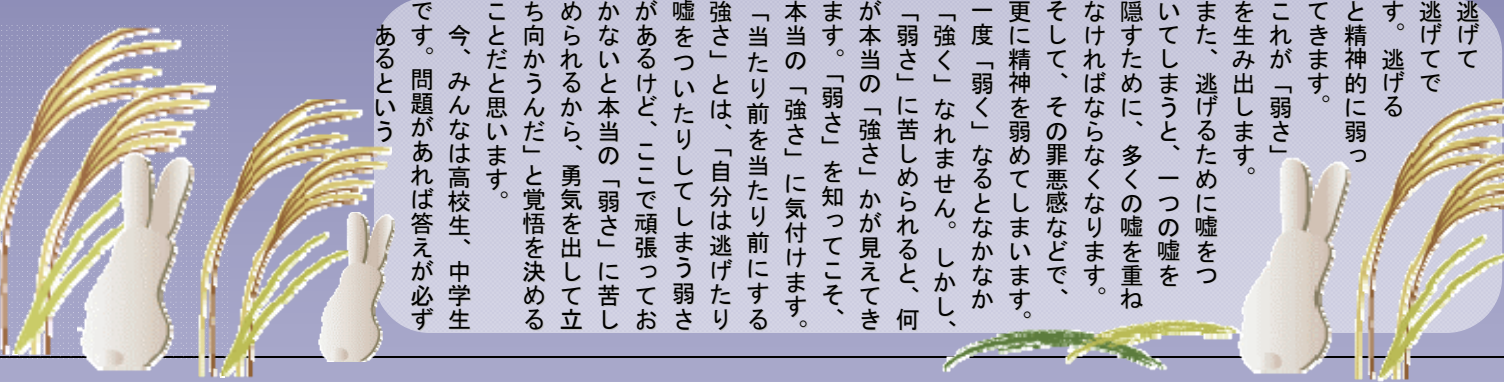
るってことかなあ」とか考えたりもしました。しかし、そんなに簡単なことではありませんでした。

例えば、自分が就職して企業で働いていると想像して下さい。営業職として担当先に売上代金を集金に回ったとします。帰社し、現金を合わせたところどうしても500円合わない。さて、どうしますか? 「500円くらいなら手元を持って帰るから、ミスしたのは自分だし自腹を切って補充しておこう」と考えますか? 「500円少ないならそれもできるかもしれないませんが、逆に500円多

かったらどうしますか? その500円を自分の財布に隠しますか? それじゃ犯罪ですよ。実は自腹を切るのもダメです。この場合の「当たり前」は、まずは上司に報告し、自分が集金した一先一先に頭を下げながら確認していくのです。報告するの、何だか自分の評価を下げられそうで嫌だし、お客さんに頭を下げながら回るのも嫌われそうで嫌で、とにかく辛くて嫌な作業です。でも、それができなければ信用は失墜してしまいます。こんなこと起きなければ良いのですが、人間なのだからこんな類のことは必ず起きます。

こんな例しか思いつきませんが、何となくでも良いから伝わったでしょうか? 立派な学歴や素晴らしい能力を持っていたとしても、「当たり前」が「当たり前」にできなければ、結局何にもなりません。では「当たり前」って何なのか? 「誰もが当然のように出来ること」って考えてしまいがちですが、それだけではありませぬ。出てくればならぬこと「当たり前にする」というのも、「当たり前」が分かっていても、それが行動に移せるかは別問題で、「強さ」が必要です。では「強さ」とは何だろうか? パツと脳裏に浮かぶのは腕力かもしれませんし、人を論破する力かもしれませんし、コツコツと負けて努力を続ける力かもしれませんし、人が萎縮するよなことも平気でいられることかもしれません。もちろんこれらも「強さ」で間違いはないと思います。しかし、真の「強さ」とは「弱さを知る」ことだと思えます。様々なプレッシャーのかかる場面で、自分の弱さを知ることがあります。追い込まれて逃げたり、逃げるために嘘をついてみたり。まさか自分とはこんなに弱い人間だったのか、と愕然とし、自己嫌悪に陥ってみたい。逃げると追いかけるというのが世の常です。追いかけるのと逃げるばかりで、なかなかこっちから追いかけることができません。

河合サテライトネットワーク校
全統模試実施校
坂本教室 OFFICE
TEL 24-1337
FAX 82-6185
天神教室
TEL 23-1899
E-mail
info@katagirijuku.com



逃げて逃げてで、逃げる。と精神的に弱ってきます。これが「弱さ」を生み出します。また、逃げるために嘘をついてしまつと、一つの嘘を隠すために、多くの嘘を重ねなければならぬようになります。そして、その罪悪感などで、更に精神を弱めてしまいます。一度「弱く」なるとなかなか「強く」なれません。しかし、「弱さ」に苦しめられると、何が本当の「強さ」かが見えてきます。「弱さ」を知ってこそ、本当の「強さ」に気付けます。「当たり前を当たり前にする強さ」とは、「自分は逃げたり嘘をついたりしてしまつ弱さがあるけど、ここで頑張っておかないと本当の「弱さ」に苦しめられるから、勇気を出して立ち向かうんだ」と覚悟を決めることだと思えます。

今、みんなは高校生、中学生です。問題があれば答えが必ずあるという

「当たり前を当たり前にする強さ」とは、「自分は逃げたり嘘をついたりしてしまつ弱さがあるけど、ここで頑張っておかないと本当の「弱さ」に苦しめられるから、勇気を出して立ち向かうんだ」と覚悟を決めることだと思えます。今、みんなは高校生、中学生です。問題があれば答えが必ずあるという

白黒のはっきりした世界にいます。その分、「当たり前」も分かり易いものが多いと思えます。それが、今後、大学に進学すると、答えの無い問題というのが現れ始め、明確だった世界は徐々にぼやけ始めます。同時に「当たり前」もぼやけ始めます。そして社会人になると、さらにぼやけていきます。「当たり前」もさらにぼやけていきます。しかし、「当たり前を当たり前にする」には「当たり前」が分かっているければならないので、ぼやけた中から「当たり前」を感じ取らなければなりません。感じ取るには本物の感性が必要だと思えます。感性を磨くには美しいものを見て「美しい」と感じることを言われます。これは誰しもが「当然」だと考えるレベルの「当たり前」に気付くことに通じていると思います。しかし、美しいものだけが「美しい」というわけではなく、美しいと思えないところにある「美しさ」を感じることが本物の「当たり前」に気付くことだと思えます。では、見えないところにある「美しさ」に気付くにはどうすれば良いのか...

何かに夢中になり、必死になり、周りが見えなくなるほど一心不乱に取り組んでいる時、ふと、例えば道端の花に目をやると、何でもない花なのに「綺麗やなあ」と胸がジーンとなったことはありませんか? 一生懸命に頑張っている時、ふと、心を吹き抜ける爽やかな風のような感情が、本物の感性ではないかと思えます。心や体で流した汗や涙のご褒美のようなものが本物の感性ではないかと思えます。本物の感性があれば本物の「当たり前」に気付くようになると思っております。

「当たり前を当たり前にする強さ」とは、「自分は逃げたり嘘をついたりしてしまつ弱さがあるけど、ここで頑張っておかないと本当の「弱さ」に苦しめられるから、勇気を出して立ち向かうんだ」と覚悟を決めることだと思えます。

「当たり前を当たり前にする強さ」とは、「自分は逃げたり嘘をついたりしてしまつ弱さがあるけど、ここで頑張っておかないと本当の「弱さ」に苦しめられるから、勇気を出して立ち向かうんだ」と覚悟を決めることだと思えます。

お車での送迎について
お迎え時の車の混雑について、保護者の皆様にご理解とご協力をお願い致します。お迎えの際には、駐車場内での安全走行、エンジン停止にご協力いただくとともに、ご近所出入口などでの路上待機、他の駐車場の無断使用などはご遠慮いただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

坂本教室からのお知らせ
※ 坂本教室の9月の休日は、**5日(日) 12日(日) 19日(日) 26日(日)**です。
尚、11日(土)は観一祭の為、坂本教室は16:00~となります。
メールでの連絡はこちらまで info@katagirijuku.com

河合サテライト講座 リスニング対策講座受講割引のご案内
センター試験で「リスニングが苦手!」という人のために!
今回、期間限定で対象の河合サテライト講座の受講料を塾生に限り、特別料金と致しました。
・ 割引対象講座 センター試験対策英語(リスニング対策編)
通常価格 13,000円 → 特別受講料 10,000円(税込)
(申込み後のキャンセルは出来ません。)
12月末までの期間限定になります。
しくは坂本教室までお問い合わせください。

将来、本物の「当たり前」に気付く、「当たり前を当たり前にする」真の強さを身に付け、自分らしく、明るく、元気に、たくましく、自分の人生を闊歩して下さい。そこに見えるものずつと先に本物があるはずですよ。